

2023 年 6 月 6 日

医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会
報告書案について

日本製薬団体連合会
会長 岡田安史

今般、「医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会」（以下「本検討会」という）において報告書案が提出され、取りまとめの方向性が示されました。

医薬品の研究開発・安定供給を通じて健康長寿社会の実現を目指す製薬産業としての立場から、以下の通り所感を申し上げます。

昨年 8 月に設置された本検討会において、医薬品の迅速・安定供給実現に向けて幅広く議論いただいたことに敬意を表するとともに、医薬品をめぐる様々な課題を解決するための具体的な諸施策に繋がることを期待しています。

報告書案においては、医薬品の安定供給の確保、創薬力の強化やドラッグ・ラグ／ドラッグ・ロスの解消、適切な医薬品流通の実現、医療上必要性が高い医薬品の薬価の下支え、革新的医薬品における新たな評価方法や特許期間中の薬価維持の仕組みの強化、過度な薬価差の偏在の是正など、極めて重要な対策の方向性が示されました。

今後、中央社会保険医療協議会（中医協）をはじめとする関係審議会等で議論が開始されると理解しておりますが、非常に多岐にわたり、また大きな改革を伴うこれらの施策を実行に移すには、政府の強いリーダーシップの下で、短期的・中長期的な課題を整理した上で優先順位や時間軸を明確にして進めていく必要があります。

そして、課題の解決に向けた施策を実効性のあるものとするためには、官民が共通のビジョンをもって一体となってつくりあげていくことが重要であり、医薬品業界も積極的に貢献してまいる所存です。今後とも関係各位の一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

（以 上）